

自動車技術会2017年度春季大会でのJATA研究発表

—第2報発表 各種走行条件パラメータの違いによる燃費影響感度の推計結果—

第1報で提案した燃費推計手法に基づき、台上モード試験時や実走行時の各種走行パラメータの燃費影響感度を推計した。モード試験のパラメータでは、ころがり抵抗、空力抵抗、設定慣性質量、実走行時のパラメータでは走行パターン、道路勾配、自然風等のパラメータを変化させて、それによる各々の燃費影響感度を試算した。試算は種類の異なる4台のガソリン車に適用し、対象モードとしては、JC08モードの他に、平均速度の異なる各種の走行モードについても行い、燃費影響感度の寄与率を算定した。

推計計算の応用例の内容



シミュレーションで予測

1. ころがり抵抗の変化による燃費影響度
2. 空力係数の変化による燃費影響度
3. 等価慣性重量の変化による燃費影響度
4. 上記ファクターの燃費感度寄与率
(車種別、走行モード別)
5. 一定の自然風(向い風、追い風)による燃費影響度
6. 道路勾配が燃費に及ぼす影響度